

# クレーン作業は危険がいっぱい！



## クレーンの残留リスクと保護方策

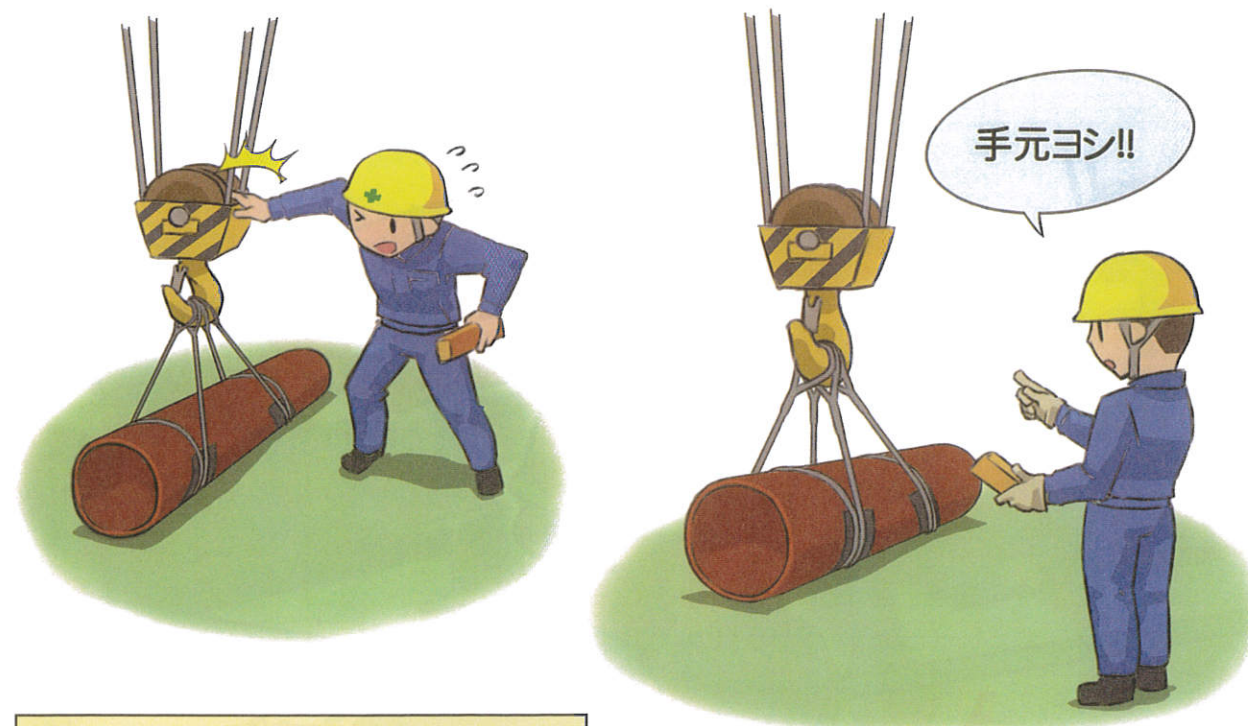
クレーンは、メーカーがリスク低減を意図して設計・製造し、さまざまな本質的安全方策が採られています。しかしながら、メーカー等が保護方策を講じても、合理的に除去できない危険やクレーンの誤使用による危険が残留し、クレーンユーザーはこれらに対して保護方策を講じる必要があります。このパンフレットは、(一社)日本クレーン協会東海支部 クレーン製造整備部会が検討した残留リスクを“ひと目で理解する”ことを目的に作成したものです。



## 指差し呼称で確認しよう!

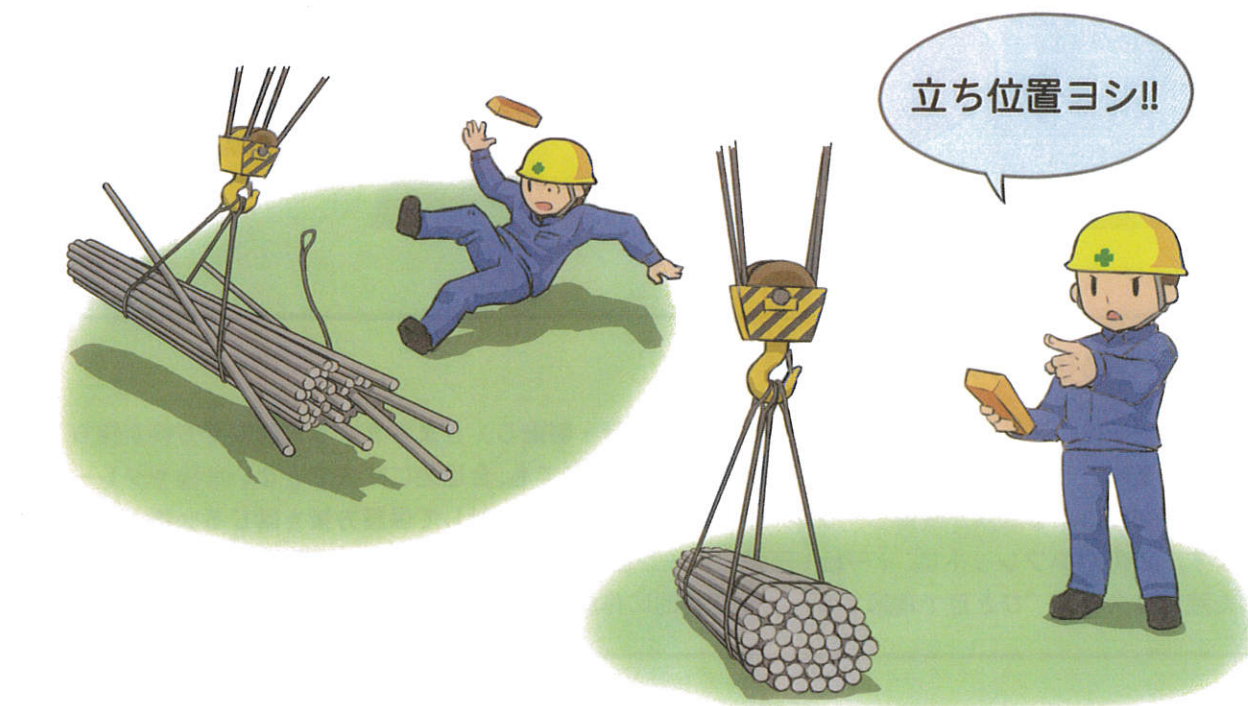
### 玉掛け作業時の危険

① ワイヤロープに触れて手・指が巻き込まれる。(残留リスク一覧 No. 1)



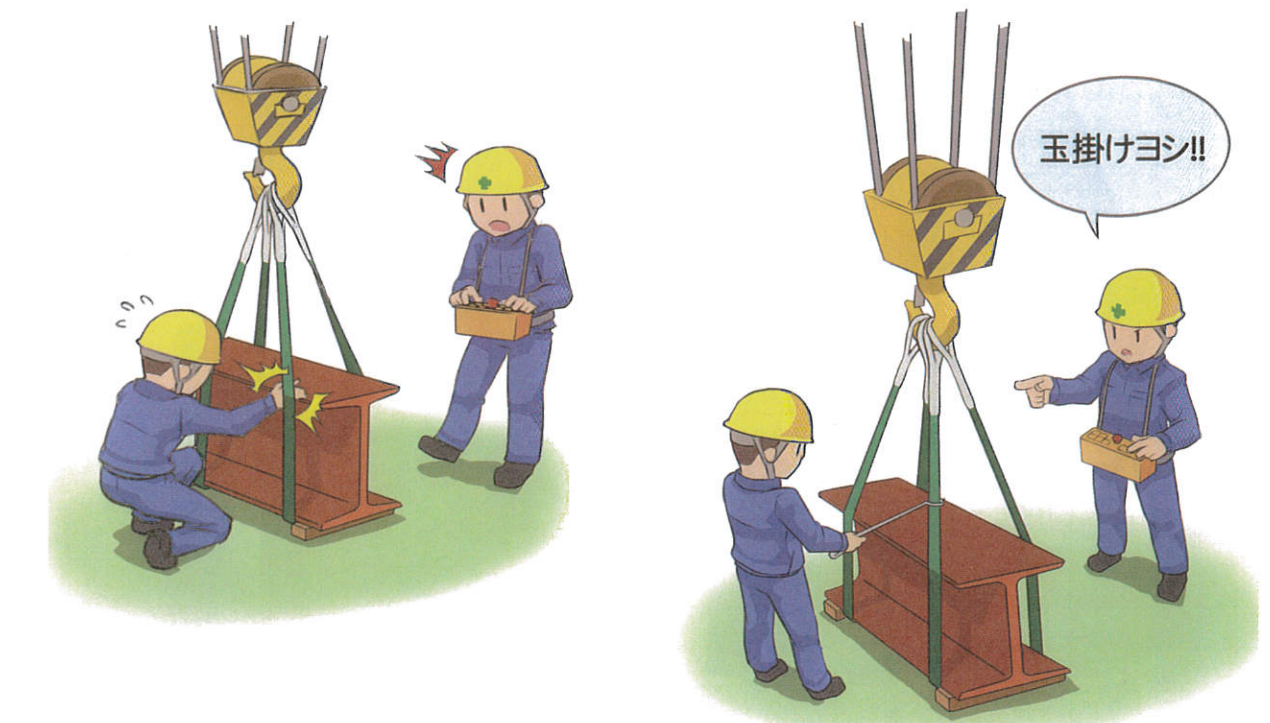
保護方策：フックブロックから手を離す。  
皮手袋を使用する。

② 地切り時に荷崩れを起こし転倒する。(残留リスク一覧 No. 2)



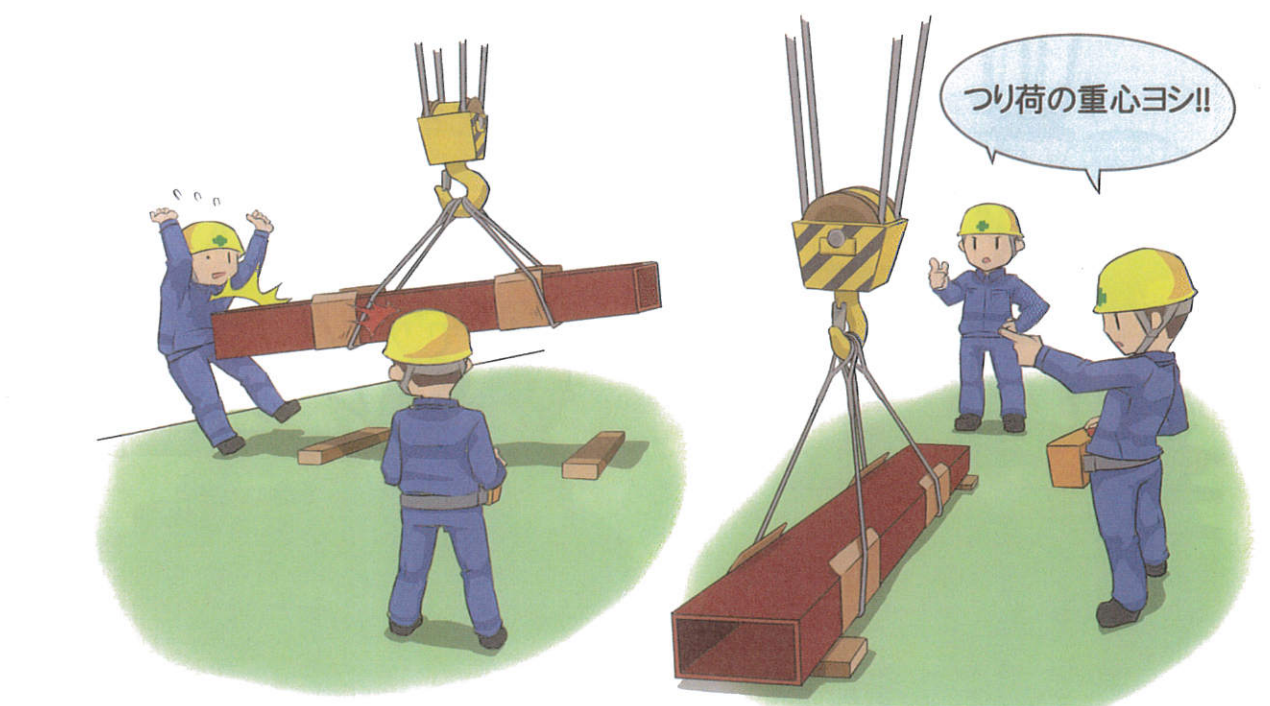
保護方策：地切り前に一旦停止。  
地切り合図時には荷から離れる。

③ 地切り時に手・指を挟まれる。(残留リスク一覧 No. 3)



保護方策：地切り前に一旦停止。  
玉掛け用デリッキ(ハーケン)を使用する。

④ 玉掛け不良で斜めつりになり挟まれる。(残留リスク一覧 No. 4)



保護方策：地切り前に一旦停止。  
中心位置を必ず確認する。